

平成29年 火災と救急救助の概要

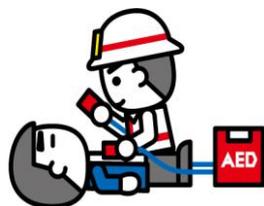
消防本部予防課予防G (☎ 0595-82-9492)

消防本部消防総務課消防救急G (☎ 0595-82-9496)

火災 25 件

救急 2,281 件

救助 31 件



●火災の概要 【消防本部予防課予防グループ】

平成29年中の火災件数は25件で、前年に比べて6件減少しました。また、火災による負傷者は3人でした。

項目別では、建物火災が6件で前年に比べて3件減少し、うち住宅火災は4件でした。

主な出火原因は、枯草焼き、たき火など火の不始末や車両の整備不良によるものでした。

火を取り扱う際は、消火器等を準備しその場を離れない。また、日頃から車両の整備にも気を使いましょう。

項 目		平成28年	平成29年	前年比
火災件数	建物火災	9	6	-3
	林野火災	1	0	-1
	車両火災	6	7	+1
	その他火災	15	12	-3
	合 計	31	25	-6
死傷者	死者(人)	1	0	-1
	負傷者(人)	2	3	+1

※その他火災とは、建物、林野、車両に該当しない火災です。(例：空地の枯草や田畑の火災など)

主な出火原因	平成28年	平成29年
	枯草焼き	たき火、枯草焼き
	たき火	火の不始末
	放火の疑い	車両不備

●救急救助の概要 【消防本部消防総務課消防救急グループ】

■救 急

・事故種別出動件数、搬送人員（表1）

平成29年中の出動件数は2,281件、搬送人員は2,174人で、前年と比べて出動件数は82件増加し、搬送人員は61人増加しました。

1日の平均出動件数は6.2件で、平均搬送人員は5.9人となっています。

事故種別では、急病によるものが最も多く、次いで一般負傷、交通事故の順となっています。

（表1）

事故種別		年 別		前年比
		平成28年	平成29年	
火 災	出動件数	8	6	-2
	搬送人員	3	1	-2
自然災害	出動件数	0	0	±0
	搬送人員	0	0	±0
水 難	出動件数	1	1	±0
	搬送人員	1	1	±0
交通事故	出動件数	239	247	+8
	搬送人員	251	261	+10
労働災害	出動件数	22	38	+16
	搬送人員	22	35	+13
運動競技	出動件数	6	5	-1
	搬送人員	6	5	-1
一般負傷	出動件数	324	354	+30
	搬送人員	309	343	+34
加 害	出動件数	8	5	-3
	搬送人員	7	2	-5
自損行為	出動件数	19	22	+3
	搬送人員	13	13	±0
急 病	出動件数	1,454	1,454	±0
	搬送人員	1,387	1,369	-18
その他	出動件数	118	149	+31
	搬送人員	114	144	+30
合 計	出動件数	2,199	2,281	+82
	搬送人員	2,113	2,174	+61

・被搬送者の傷病程度別比率（表2）

平成29年中の被搬送者2,174人における傷病程度の比率は、軽症が1,079人で49.6%、中等症が871人で40.1%、重症が147人で6.8%、死亡・その他が77人で3.5%となっています。前年と比べて軽症の占める比率が減少しました。

（表2）

年 別		平成28年	平成29年
傷病程度			
軽 症	搬送人員	1,079	1,079
	比 率	51.1%	49.6%
中等症	搬送人員	875	871
	比 率	41.4%	40.1%
重 症	搬送人員	99	147
	比 率	4.7%	6.8%
死亡・その他	搬送人員	60	77
	比 率	2.8%	3.5%
合 計	搬送人員	2,113	2,174

- ※ 軽 症：入院を必要としないもの
- 中等症：入院を必要とするもので、重症に至らないもの
- 重 症：三週間以上の入院加療を必要とするもの
- 死 亡：初診時において死亡が確認されたもの
- その他：医師の診断がないものなど

・被搬送者の年齢区分別比率（表3）

平成29年中の被搬送者における年齢区分別比率は、高齢者が1,223人で56.3%、成人が749人で34.5%、少年が76人で3.5%、乳幼児が123人で5.6%、新生児が3人で0.1%となっています。年齢区分別比率は前年と同程度となっております。

（表3）

年 別		平成28年	平成29年
年齢区分			
高齢者	搬送人員	1,195	1,223
	比 率	56.5%	56.3%
成 人	搬送人員	720	749
	比 率	34.1%	34.5%
少 年	搬送人員	71	76
	比 率	3.4%	3.5%
乳幼児	搬送人員	125	123
	比 率	5.9%	5.6%
新生児	搬送人員	2	3
	比 率	0.1%	0.1%
合 計	搬送人員	2,113	2,174

- ※ 高齢者：65歳以上の者
- 成 人：18歳以上65歳未満の者
- 少 年：7歳以上18歳未満の者
- 乳幼児：生後28日以上7歳未満の者
- 新生児：生後28日未満の者

・医療機関への市別搬送比率（表４）

平成２９年中の市別医療機関における搬送比率は、市内医療機関への収容率が４６．６％で、市外医療機関への搬送が５３．４％となっています。

（表４）

年 別		平成２８年	平成２９年
市 別			
亀山市	搬送人員	１，０３４	１，０１３
	比 率	４８．９％	４６．６％
鈴鹿市	搬送人員	７９５	８４６
	比 率	３７．６％	３８．９％
津 市	搬送人員	１７６	１７５
	比 率	８．３％	８．１％
四日市市	搬送人員	９２	１２７
	比 率	４．４％	５．８％
その他	搬送人員	１６	１３
	比 率	０．８％	０．６％
合 計	搬送人員	２，１１３	２，１７４

・現場到着・病院収容までの平均所要時間（表５）

平成２９年中の現場到着までの平均所要時間は、８．３分で前年と比べて０．２分延びました。また、病院収容までの平均所要時間は、４０．８分で前年と比べて０．７分延びました。

（表５）

年 別	平成２８年	平成２９年	前年比
所要時間			
現場到着（分）	８．１	８．３	+０．２
病院収容（分）	４０．１	４０．８	+０．７

■救急車の適正利用と救急医療情報システムの利用

救急車の適正利用については、広報「かめやま」、ＺＴＶの文字情報や救急講習会などを通じて、市民の理解と協力をお願いしていますが、依然として明らかに軽症と思われる方、タクシー代わりの出動要請など緊急性の低い事例がみられます。

「救急」の場合は、希望の医療機関へ搬送できるとは限りません。また、医療機関では、重症者の治療が優先されます。

救急車を呼ぶほどではないが、すぐに受診を希望される場合は、下記の《救急医療情報システム》を利用してください。

《救急医療情報システム》

パソコン **URL** <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>

携帯電話 **URL** <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/>

自動案内 ☎0800-100-1199（通話料無料・ファックスでも受信可能）

医療情報センター（対人案内） ☎059-229-1199

※受診の際は、必ず紹介された医療機関に事前確認してください。

※救急車を呼ぶべき症状について詳しくは、市消防本部のホームページをご覧ください。

(**URL** <http://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/index.html>)

■救 助

平成29年中の救助件数は31件で、前年に比べて8件減少しました。交通事故に伴う救助出動が最多となっています。

災害はいつ起こるか分かりません。日頃から災害に対して備えましょう。

救助の概要		28年	29年	前年比
事故種別件数	交通事故	22	17	-5
	水難事故	2	1	-1
	建物等による事故	2	3	+1
	風水害等 自然災害事故	0	0	±0
	機械による事故	0	1	+1
	その他の事故	13	9	-4
	合計	39	31	-8

※その他の事故とは、交通事故、水難事故などに該当しない事故です。

■災害情報案内の利用

火災などの災害情報を自動音声案内や市消防本部ホームページ（軽易なものは除く）に掲載していますので、ご活用ください。

《自動音声案内》

☎82-9555

《市消防本部ホームページ》

URL <http://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/>